

県婦連だより

発 行 所
 千葉市千葉港4番2号
 千葉県中小企業会館4階
 千葉県商工会連合会内
 千葉県商工会婦人部連合会
 電話 0472 (42) 3361

創刊のことば

千葉県商
工 会 婦 人 部
連 合 会 会 長

勝 股 歌 子



千葉県商
工 会 婦 人 部
連 合 会 の 創
刊 に あ た り
か ね て、こ
活 躍 戴 い て
お り ま す 婦 人 部 の 皆 様 方 に、心 か
ら 感 謝 と、お 礼 を 申 し 上 げ ま す。
私 達 が 固 い 絆 に 結 ば れ、県 連 婦 人
部 が 結 成 さ れ て、十 五 周 年 を 迎 え
ま し た。設 置 部 数 二 十 六、部 員 数
二 千 八 百 五 十 七 名 完 全 結 成 に は 未 だ
遠 い と ころ で あ り ま す が、県 連 事
務 局 で は、急 ピ ッ チ で、完 全 結 成
を 目 指 し て 努 力 致 し て お り ま す。
私 達 婦 人 部 は、県 連 又、親 商 工 会
の 暖 か い 協 力 の も と で、大 き く 成
長 し て 参 り ま し た。私 達 商 工 婦 人
部 は、常 に 自 己 研 鑽 に 努 め、商 工

会 婦 人 部 の 健 全 な 発 展 と、組 織 の
強 化 を 目 的 と し て、各 種 の 事 業 に
参 画 し て 参 り ま し た。五 十 六 年 九
月、全 国 連 主 催 に よ る、青 年 婦 人
部 の 翼 に は、千 葉 県 商 工 会 婦 人 部
か ら 二 十 五 名 参 加 し、ハ ワ イ 州 ホ
ノ ル ル 市 ワ イ キ キ ・ シ ェ ル に 於 て
各 方 面 か ら の 要 人 多 数 を 迎 え 大 セ
レ モ ニ ー が 取 り 行 わ れ、国 際 親 善
を 果 し て 参 り ま し た。参 加 さ れ た
部 員 達 は 三 日 間 の オ プ シ ョ ナ ル ツ
ア ー に 参 加 し て、ハ ワ イ、ホ ノ ル
ル 商 店 街 等 を 視 察 し、商 工 主 婦 の
視 野 を、そ れ ぞ れ 勉 強 し て 参 り ま
し た。五 十 六 年 五 月、商 工 会 法 も
改 正 さ れ て、そ れ に 伴 う 定 款 の 改
正 に よ り 婦 人 部 の 位 置 づ け と、役
割 が 明 確 に さ れ ま し た が、青 年 部
・ 婦 人 部 共、商 工 会 の 中 に あ る、

発刊を祝う

千葉県商工
連 合 会 会 長

菅 生 義 一



このたび
千葉県商工
会 婦 人 部 連
合 会 の 機 関
紙 が、県 婦
連 だ よ り、

内 部 組 織 で あ り ま す の で、今 後 共
商 工 会 事 業 に 積 極 的 に 協 力 し、大
地 に し っ か り と 足 を 踏 ま え、一 致
団 結 し 豊 かな 生 活 環 境 づ くり を 目
指 し て、女 性 ら し く 母 親 ら し く、
商 工 主 婦 ら し く 世 代 の 波 に 乗 っ て

行 き たい と 願 っ て お り ま す。
最 後 に 部 員 の み な さ ま の 益 々 の
ご 奮 闘 を お 祈 り し、「県 婦 連 だ よ
り」の 発 展 を 期 待 し て ご あ い さ つ
と し ま す。

と し て 発 刊 さ れ ま す こ と は、私 ど
も 関 係 者 と し て も 大 変 う れ し い こ
と で あ り、心 か ら お 祝 い を 申 し 上
げ ま す。
こ れ ま で 各 婦 人 部 は 商 工 会 活 動
の よ き 協 力 者 と し て、多 方 面 に 活
躍 さ れ、商 工 会 の 発 展 と 地 域 商 工
業 の 振 興、さ ら に 豊 かな 生 活 環 境
づ くり を 目 指 し 活 動 さ れ て お り ま
す こ と に、深 く 敬 意 を 表 す る 次 第
で あ り ま す。
商 工 会 法 が 改 正 さ れ、商 工 会 の
目 的 に「社 会 一 般 の 福 祉 の 増 進 に
資 す る こ と」が 追 加 さ れ ま し た が、

こ の こ と は 地 域 経 済 社 会 に お け る
商 工 会 の 役 割 と 社 会 的 使 命 の 増 大
を 踏 ま え て、そ の 使 命 が 拡 充 強 化
さ れ た も の で あ り ま す。今 後 は、
特 に 商 工 会 婦 人 部 の 活 動 に 大 い に
期 待 す る も の で あ り ま す。

こ れ ま で の 商 工 会 は、法 に 基 づ
き、主 と し て 市 町 村 に お い て 商 工
業 の 総 合 的 な 改 善 を 図 る こ と を 目
的 と し た 自 主 的 組 織 で あ り ま し た
が、今 後 は、地 方 の 時 代 に お け る
地 域 総 合 経 済 団 体 と し て、地 域 社
会 の 経 済 的 発 展 の み な ら ず、地 域
の 文 化 的、社 会 的 分 野 で も 寄 与 し
て ゆ か ね ば な り ま せ ぬ。
そ の よ う な 意 味 に お い て、商 工
会 婦 人 部 が そ の 役 割 を 担 っ て い
く の に 最 も ふ さ わ し い 組 織 で あ る
と 考 え ま す。
県 婦 人 部 連 合 会 は 昭 和 四 十 二 年

六月に設立され、当初十八商工会婦人部でスタートいたしました。現在は二十六婦人部部員数二千八百五十七名に増加しているものの組織率において、全国平均に達しておりません。

しかし本年度には七商工会で婦人部が結成されることになっております。さらに県連合会におきま

しても、五十七年度の重点施策として完全結成を目標に指導してまいります。

最後に、県婦連だよりが商工会の会員の皆様の絆として、今後ますます発展されますことを祈念し、発刊のお祝いのごとばといたします。

発刊を祝して

全国商工会婦人部
連合会会長 本間 さよ

千葉県商工会婦人部連合会におかれましては、結成十五周年を迎えられ、ここに記念紙を発刊されますことは、婦人部の仲間のひとりとして、まことに同慶にたえません。

ご承知のとおり本年は、私たち商工会婦人部が全国組織化されて以来、十五年を迎えるに至り、この間、量的にも質的にも大きな進歩を遂げて参りました。

とき同じくして、商工会法の一部改正が実現し、それに伴う商工会模範定款例の改正によって、私達婦人部の商工会に於ける位置づけが明確化されましたことは、誠に同慶にたえないところであり

ますと同時に、商工会組織の欠くべからざる一員として、大きな責任をも痛感いたしておるところでございます。

法改正の中で、商工会の事業のひとつに「社会一般の福祉の増進に資する事業」が新たに加えられました。このことは、私達が、長年にわたり取り組んで参りました幅広い地域活動の実績が、今後とも地域経済団体としての社会的責任を担う商工会にとって極めて重要なものとして認められたものであると言つて過言でないと考えられるものであります。

ここに私達は、私達のスローガンである奉仕とふるさとづくり運

動を、それぞれの地域にあって仲間をつのり、結束を固めながら、地道ながらも積極的に推進していくことが、各方面からの期待にこたえる道であると確信するものでござ

います。最後に、県下婦人部の皆様のますますのご発展とご健勝を心からお祈り申し上げまして祝辞といたします。

商工会婦人部15周年記念

民謡舞踊研究発表大会を開催

千葉県商工会婦人部連合会



去る二月二十三日、千葉厚生年金休暇センターにおいて、県商工会婦人部連合会設立十五周年を記念して「民謡舞踊研究発表大会」が盛大に開催されました。大会は、県商政観光課時田団体係長、田中県連副会長、大野専務理事、単商から小野田富里村商工会長、同高橋副会長、婦人部OBから桜井つね氏、広島春江氏を来賓に迎えて、県下十七婦人部から一五〇名が参加して開かれました。坂本県連副会長の開会のごとにより第一部の幕が華

やかにあげられました。初めに、参加者全員による商工会婦人部の歌をうたい、勝股大会実行委員長の挨拶に続いて、来賓の祝辞をいただきました。引き続き第二部民謡舞踊研究発表にうつり、各婦人部代表者により五時間にわたって色取り取りの衣装により、熱心に踊りと民謡が披露されました。

この大会は、五年前の県婦連設立十周年を記念して婦人部の交流と親睦を図ることを目的として発足したもので、以後毎年つづけて実施されてまいりました。

昨年の商工会法の改正にもみられるように、これからの婦人部は、地域社会の福祉活動の担い手として、これまで以上に広い活発な活動が期待されているわけであります。

このところ各市町村でのふるさと祭が盛んになっている折から、ふるさとづくりの中核としての各種研修・研究活動はもとより、文化・福祉活動の分野での活動の総合的研究の発表を目指し、五十六年度より「研究発表大会」として開催されたものであります。

最後に、参加者全員がビューティーフルサンデーを踊り、この十五周年を契機に一層の研鑽と団結を誓い合い、来年の再会を約束し、井上県婦連副会長の閉会のことばをもって幕をとじました。

集 特 我が街の婦人部

これからの商工会婦人部は地域社会にあって、特に消費者団体、地域婦人団体等各層の人々との交流を積極的に図っていく必要があります。

そのためにも、各婦人部は一層の団結と組織がためが必要であります。

そこで日頃の婦人部活動(一)活動状況 (二)役員会等の開催回数 (三)事業参加への対策) について語ってもらいました。



鎌ヶ谷市商工会
婦人部 一
海老原部長

当鎌ヶ谷市は県連婦人部発足と殆ど変わらない年に結成されました。私共の婦人部は若い層がなく殆ど五十代の年輩者が多いのです。部員数は余り多くないので結束は固くチームワークはよくとれている感じですが、

一、年に二回大きな行事としては、

春の民謡舞踊大会及び十二月に行うダンスパーティー等です。これは会員が主となり外部の方も交流して行われます。この他会員だけの研修旅行を一泊二日で行って一回や、会員相互の親睦を計っております。

二、役員会は大抵二ヶ月に一度位予定していますが、何か行事をする時はその都度会合する様に致しております。

会合は全て夜七時より、もちろん一人でも多く出てくれる様ねがっております。

三、婦人部活動に一人でも多く参加出来る様、会員の都合のよい日を選ぶ心がけ意見を交しながら考えて、その日時を決める様に心がけております。講習会等も会員の希望をつのり種目を時々変える様にしております。料理講習等は楽しみにしているので比較的出席率が高いのです。講習終了後、そのお料理を食べながらいろいろ話合えるのが楽しみです、年に四回位やれる様努力致しております。



酒々井町商工会
婦人部 一
京増部長

併し何をするにしても人数を揃えるのが大変です。今後益々発展するには会員増強に力をそそぎ婦人部活動を続けて行きたいと思っております。

酒々井町の婦人部は四十二名で、毎年初詣と講師を頼んで車内研修を実施しております。今年は一月二十九日香取神宮をお詣りして、銚子のヤマサ醤油を見学し帰りに成田空港のビューホテルで夕食を共にし帰路についた。朝は初雪の銀世界でした。

今回は、二十名の参加でしたが日頃の苦勞を忘れてバスの中は暖く春が先にやって来たような雰囲気でした。

昨年の十二月産業祭に青年部のお手伝いをしてチャリティを開催し、二十万円を町の福祉協議会へ送り、感謝されて居ります。部長を若い人にゆずり活躍して貰う事になりました。





富里村商工会
一婦人部一

相川部長

この富里村と云う所は、北総台地の広々とした畑地帯で、田んぼは総面積の二割位で野菜農家の多い所です。成田空港開港以来ニュータウンが大分増えて新住民が多くなって人口二万六千人余り、村としては千葉県でも大きい方だと思えます。その中で商工業者も大分多くなりましたが、富里村のすぐ隣り成田市にダイエー、ジャスコと大型店が出来ましたので、商魂たくましさの中、その近くに住む私共小売業者はきびしい世代に頑張らなければならない苦しさがあるのです。その中で商工婦人部員としては七十名足らずで未だ結成して一年半位でやっとヨチヨチ歩きで、皆さんの御指導を仰ぎ乍らどうやら進んでいるわけです。何しろ職業婦人の一家の中心で、忙しく働く人ばかりですので会合も思うように開けず、昨年は総会兼旅行と二、三回会合を開いた位でした。その外、県婦人部の研修にも参加させて頂きました。が、講師の先生のお話で「店頭に立って働く時は常に清楚な服装で

華美なおしゃれは禁物で、お客様にねたみと不快感を味わせるので気を付ける事、そしてお客様にはいつも親切に安く売れる様心掛ける事」等、又其の後の総会の時の先生の話では、近代女性のつまらない迷信にまどわされないよう強い生き方を学び良い勉強になりました。又秋の産業まつりには、役場農協商工会と色々催し物も多く、私共婦入部は甘酒の無料接待所の係りを受持、丁度寒い日で村民ごぞつての沢山の山の人出に、熱くおいし甘酒に皆さん大変喜ばれ二日間大盛況でした。その他色々の出店者も多く盛大な産業祭りございました。

これから二月中旬には、村商工会で婦人部一同が集まって講師の先生をお招きして講演会を開く予定です。二月に開催された県の民踊大会にも七人参加致しました。



白井町商工会
一婦人部一

山崎部長

一、私共の婦人部は昭和五十五年十月二十一日に結成されました。私は、初代部長に選出されてまだ日が浅い為、どんな活動をすれば、

部員に役立ち、喜ばれるのかで、いつも悩んでいます。これまでは年一回の研修旅行で部員相互の交流を深めています。又、通行量調査の協力や町主催による「ふるさとまつり」へ積極的に参加し、一般住民との交流もはかりたいと考えております。今後は、その範囲を地域福祉活動へと広げて行きたいと思えます。



八日市場市商工会
一婦人部一

勝股部長

八日市場市商工婦人部は、会員百九十七名で部長一名、副部長五名、会計二名、理事八名、各部落委員二名ずつです。このことは、各会合又は、行事運営になるべく多く参加し、役員としての意識、責任を持って戴く事によって、商工婦人部の行事がスムーズに行われる様にして居ります。

教養講座として、お茶第一・第三金曜日市栄養改善の指導で、年二回公民館調理室で受講して、成人病予防に役立てて居ります。年一回老人ホーム、身体障害者の慰問、市の行事の、よかつて祭りに参加しチャリティーバザールを開催、売上金を市の福祉へ寄附し、踊にも参加し、踊れない部員は、お茶の接待など致します。又文化祭には、芸能発表や手芸の出品等に参画致し、又は各種団体の交流、婦人会、交通安全婦人部等では、消費者の商店に対しての要望、車で買物をする消費者の駐車規制を緩めてもらい、お客様がゆっくりと買物が出来る様に、話しあいを致しております。部員の親睦を図るため県外研修旅行を行い、先進地婦人部との交換会等も行い、商工主婦としての研鑽に努めております。一月二十一日に、栃木県連商工婦人部と県婦連及び八日市場市商工会婦人部との交換会が、八日市場市公民館第一講座室で開かれました。八日市場市商工婦人部から十七名、県婦連から村田さんが出席しました。婦人部が、講習を受けたお茶・栄養改善での成人予防の食事・おやつのお餅を試食しながら活発な意見交換を行い、二時間程の短い時間ではありまし

たが、お互に有意義な交換会を致しました。商工婦人部ならではの出来ない、他県との交流や私達の街のアピール等が出来、今後益々商工主婦の研鑽を致しながら、完全な商工婦人部を作り、商工会に協力致したい所存であります。



会 部 一 人 商 工 市 旭
一 婦 人 部 長
飯 島 部 長

一、生花教室・お習字・詩吟・ダンスを月二回、会員との親睦を計り、又たのしんでおります。特にお花は、会員並に店員の希望者にも参加させて、店員の嫁入りときは先生より修了証を下され、嫁入り道具の一つに加える事が出来て喜ばれております。お習字もやはり店員と共に習っております。詩吟、ダンスも一生懸命です。特にダンスパーティーは、商工会婦人部は大いにひっぱりだこですが、商工会婦人部の名をほこりとしての行動が大いにアピールとなっております。

二、会合は年に五回位で会員の意見も取り入れて大體、夜間に開いております。
三、常に和合との事をとなえてお

りまして、研修会の場合も、前もって各地区役員が責任を持ってさそい合い、電話でさそい買物にいつてさそう様にしております。会員の中には、お母さんの都合の悪い時は若いお母さんが出て下さる様な仕組となっておりますので、案外出席率が良い様です。又、役員を多くつくる事も一策と思ひ、三年前から企画部をつくり、事業をする場合も企画部が主となり、役員会を開きスムーズに行っております。会員を一人でも多くふやすために、入って頂くことをすすめるよりも入らせて下さいと云われる様な商工会婦人部になりたいと常と思ひます。地域福祉活動として、街頭募金も進んで参加し、老人ホーム向けの衣料品も会員全体で集めて、市役所へおさめる運動も行い商工会婦人部としての面目をほどこしております。



会 部 一 人 商 工 市 大 栄
一 婦 人 部 長
宮 野 部 長

婦人部員は商工業の婦人経営者であり、協同経営者であるので、それにふさわしい知識と技術の修得が必要だと思ひます。

一、大栄町商工会婦人部の活動としては

研修会―経営講習会二回
(各々専門講師を招へいし実施)

先進地視察一回
(工場見学等)

生活改善―料理教室五回
教 養―手芸教室二回

地域活動―町民まつり参加
尚、今後町婦人会等と連携を密にして、消費者懇談会を開催したいと考えております。

二、会合につきましては毎月一回の割合で行っております。

三、婦人部活動に一人でも多く参加して頂くために、部員による自発性と自主性が尊重されなければなりませんので、各地区の役員が参加者の掌握に努めています。地域における商工婦人部として、より一層組織強化に努力したいと思ひます。

会 部 一 人 商 工 市 富 津
一 婦 人 部 長
田 中 部 長

一、今年度の事業として
○身近な税について
○洋食マナー

これからの予定として
○産地から消費者までの流通機構について(都庁職員による説明)(東京築地中央卸売市場)

○経営研修会

二、年四〜五回
三、一人ではなかなか学べないものを中心に、役員が直接案内状を持参し、多くの参加を呼びかけている。



会 部 一 人 商 工 市 宿 野
一 婦 人 部 長
村 田 部 長

一、事業計画に合わせて役員会を行っております。

二、年五回位(定休日或は夜行います)。

三、部員の親睦を計る為、一泊研修一回・日帰り研修一回・その他県連の研修会に参加。

四、手芸講習・料理講習会三回位。

五、年一回老人ホーム慰問。

六、講演会一回。
婦人部活動も部員の負担にならぬよう気をつけて活動しております。





大原町商工会
一婦人部一

石野 部長

大原町婦人部が出来て、今年で三年です。

私共の婦人部は三十代の若い人が多いため、部員が気軽に参加できるように、毎週一回ソフトボールを実施しています。

役員会は年五回位です。

研修事業として、研修旅行一回、親睦観劇会一回、講演会一回開催しています。

出席が少ないので電話連絡し、一人でも多くの部員の出席を願っています。



鋸南町商工会
一婦人部一

坂本 部長

一、定期的に実施している事業は、四月、十二月の各商店の飾り付けの他、ゴミゼロ運動への参加、保育園、幼稚園への慰問、大晦日の神社での甘酒サービスなどいろいろ行っていますが、五十六年度の最大の活動と言え、ふるさと産業まつり、開催を挙げる事が

できます。これは商工青年部を中心にして、各団体、サークルに呼びかけ、模擬店、農水産物の即売山車引廻し、カラオケ、盆踊り大会など多彩な行事を二日間繰り広げ、町民や観光客に非常に喜んでいただき、私達の苦勞も吹き飛んだものでした。又、三日目の最終日には、灯籠流しを行ない、ふるさとへの香りを多くの方々に味わっていただきました。これからもこのように多くの人々に喜んでもらえる行事、活動を展開していきたいと考えています。

二、もっと多くの会合をもちたいのですが、役員の中には他の団体の役員を兼任している人が多いので、年に十回ほどしか集まらないのが現状です。

三、部員数は多いのですが、実際に活動に参加する部員は限られているのが現実で、頭を悩ますところです。これを打開するために、各支部をさらに数班に細分し、班長が責任をもって文書の配布、集会の呼びかけなどを行っています。



商工会青年部・婦人部

全国組織化十五周年記念

表彰式典を開催

全国商工会青年部・婦人部が全国組織化されて以来、十五周年の記念の年に当り昨年六月十七日、東京サンケイ会館において表彰式典が挙行された。

式典は、組織運営が優良でありかつ他の模範となる青年・婦人部と、県青連・県婦連の発展に尽力された功労者等の功績をたたえる



趣旨で開催された。表彰は、中小企業庁長官、全国連会長、全国青年部婦人部連合会長の表彰と中小企業庁長官、全国連会長の感謝状で、全国で四百八十二部、八百九十九人が対象となった。

なお、本県婦人部からは次のかたがたが栄えの表彰を受与された。

● 中小企業庁長官表彰
○ 優良商工会

八日市場市商工会婦人部
旭市商工会 婦人部

功労者
旭市商工会 婦人部
飯島 喜代
八日市場市商工会婦人部
勝股 歌子

● 全国連会長表彰
○ 優良商工会

御宿町商工会婦人部
我孫子市商工会婦人部

功労者
鋸南町商工会婦人部
坂本 圭子
鎌ヶ谷市商工会婦人部



●全婦連会長表彰

○優良商工会

- 栗源町商工会婦人部
- 鎌ヶ谷市商工会婦人部

○功労者

- 我孫子市商工会婦人部
- 青木 のぶ
- 四街道市商工会婦人部
- 井上 すみ
- 富津市天羽商工会婦人部
- 鹿野 たけ

●全国連会長感謝状

- 我孫子市商工会婦人部
- 渡辺 ゆき
- 富津市大佐和商工会婦人部
- 林 初江

海老原綾子
野本 京子

千葉県商工会婦人部連合会名簿

昭和五十七年三月一日現在

商工会名	部長名	部員数	役職
我孫子市	千浜 歌子	四百六十八名	副会長
鎌ヶ谷市	海老原 綾子	五十四名	副会長
関宿町	荒井 ぶさ	百八十一名	理事
四街道市	井上 すみ	六十一名	副会長
酒々井町	京増 さく	四十二名	理事
富里村	相川 せき子	六十六名	
印旛村	間野 妙子	二十名	
白井町	山崎 直枝	四十五名	
一宮町	松下 昇(代行)	二百七十六名	
白子町	鶴沢 政吉(代行)	二十名	
大網白里町	石井 宗子	五十一名	会長
八日市場市	勝股 歌子	百九十七名	監事
旭市	飯島 喜代	九十三名	
下総町	日東寺 静子	八十一名	
大栄町	宮野 万里子	六十名	
山田町	高木 かつ子	百四十五名	
栗源町	斉藤 くに	四十五名	
東庄町	常世田 健(代行)	三百九十一名	
木更津市富来田	本多 みつ	二十名	理事
君津市清和	緒形 登美子	六十二名	
富津市大佐和	佐生 喜久代	四十二名	
富津市天羽	田中 敏	六十一名	
御宿町	村田 八重子	四十九名	監事
大原町	石野 もと子	六十四名	理事
鋸南町	坂本 圭子	百七十七名	副会長
和田町	間宮 うた	八十一名	会長

五十六年度県婦連の歩み

- 五十六年五月十九日 県婦連正副会長会・理事会・監事会(千葉 コミュニティセンター)
- 五十六年六月四・五日 東京通産局管内都県商工会連合会婦人部連絡協議会出席(栃木県宇都宮市)
- 五十六年六月十七日 青年部・婦人部全国組織化十五年記念表彰式典出席(東京サスケイ会館)
- 五十六年六月二十四・二十五日 五十六年度県婦連通常総会
- 五十六年度第一回指導者講習会(長南町笠森保養センター)
- 五十六年八月二十四日 県婦連正副会長会理事会(千葉 コミュニティセンター)
- 五十六年九月十三・十八日 商工会青年部・婦人部全国組織化十五年記念・商工会青年部・婦人部の翼」参加(ハワイ州ホノルル市)
- 五十六年十月二十一・二十二日 五十六年度第二回商工会婦人部指導者講習会、福島県婦人部連合会と交換研修(福島県郡山市熱海町)
- 五十七年一月十三日 県婦連正副会長・理事会(千葉 コミュニティセンター)
- 五十七年一月二十一日 栃木県婦人部連合会と交換研修(八日市場市)
- 五十七年二月十日 県婦連民謡舞踊研究発表大会実行委員会(千葉 コミュニティセンター)
- 五十七年二月二十三日 県婦連民謡舞踊研究発表大会(千葉 厚生年金休暇センター)
- 五十七年三月 県婦連機関紙「県婦連だより」創刊号の発行

東日本地区婦人部指導者 研修会に参加して

県婦連会長 勝 股 歌 子

東日本地区指導者研修大会が十月十四日から三日間、群馬県の草津と伊香保の二つの町で行なわれこれに参加いたしました。全国商工会連合会及び全国商工会婦人部連合会の主催で、第一日は中央大学佐藤教授の「地域愛と文化活動」と題する基調講演を行ない、講演後二つの分科会に別れ活発に討議がされた。講師・助言者が中央大学教授佐藤智雄、二日目はパネルドラスカッションに入り、コーディネーターを佐藤智雄先生、パネリストに分科会代表者として私を含め三名が参加しました。

北海道丸瀬布町の婦人部では、曜日を定めて空缶整理をし、部員の中で空缶を圧縮してもらい、資金は婦人部の活動費あるいは福祉方面にも寄附をしたり、空缶の回収をして地域の美化運動にも役立つ、一石二鳥の役にたっているとか。

文化活動では埼玉県加須市の山口さんの発表では、商店街の売出しをかねて、薬師堂で開いた際に婦人部が清掃を担当し、カラオケ

大会をされたとか。

其のあとで薬師堂が文化財である事を知り、市役所の車を出してもらって史蹟めぐりをする事により文化財の知識を修得した等。文化財、歴史を勉強し、地域の発展に役立てる事ができるのではないか。やはり下からのもち上りが大切であるが、何んの目的で、この様な文化活動を致すべきかということ、街の歴史をふまえて良いまちづくりをして行く、其のためには商工婦人部だけで無く、他の団体の連係を取る事。たとえば農協婦人部、婦人会と協力して行かなければならない。文化運動を認識することが地域愛につながるのではないかなど活発な意見の発表もありました。

三日目の研修では札幌・仙台・東京・名古屋・地元の事例発表もありました。特に地元大胡町商工婦人部長勅使川原さんの大型店進出に対処しての婦人部活動の発表は、笑いあり、涙ありで、町の商店同志が買物ごっこをすれば、大

型店進出など少しも恐くないなど。ユーモアたっぷりの発表にて最終日の研修が終了しました。

各県共地域に合った、活動の事例発表で商工婦人部が、年ごとに活発になって行くのをみるにつけ、私達千葉県商工会婦人部も見習う点が多々ありました。これらは、東日本地区指導者研修の一部にすぎませんでした。有意義な勉強をして参りました事を報告致します。

歌壇

- 御宿町 岡村 良子
◎ 旅立ちを祝うかの如き秋空に
常夏へ行く友を見送る
- ◎ 久々の車窓なれども病母を憶い
心とまず眼を閉じて居き
- ◎ 長旅の疲れやせと娘の呉れし
クッキーを食む秋空も嬉し
- ◎ 案じつ、訪ねし町を去る朝
術後の径過良好を見て
- 富里村 相川せき子
◎ 着ぶくれて店の胸算ふくらまず
- ◎ 産地より密柑値上げの送り状
- ◎ 日脚延び塵の目につく販売機

※ 編集後記 ※

県婦連の初めての試みとして、機関紙「県婦連だより」を発行(年一回予定)することになりました。何分にも不慣れと時間的制約のもとに十分な編集会議も開かれずに発刊に至り部員の皆様に満足していただけるだろうか心配しております。

「県婦連だより」は、婦人部のみなさんで育てる新聞です。本紙が、県婦連の発展の一助となりますように、また部員相互の情報交換の場として育つよう、皆様のご支援をお願いいたします。

- 酒々井町 高橋 紀美
 - ◎ たくまじき 八つ手の花や 霜ゆでに
 - ◎ 寒卵 皿に割りたる 山形に
 - 酒々井町 京増 さく
 - ◎ 曇り空 赤い柿一つ浮いている
- 編集委員長 勝 股
委員 坂本 海老原 井上 京増 石野 飯島 村田